

【研究に関する情報公開】

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の〈お問い合わせ窓口〉までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の〈お問い合わせ窓口〉までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

〈研究課題名〉

アcantアメラバ角膜炎の診断・治療・予後に関する疫学調査

〈研究機関・研究責任者名〉

群馬大学医学部 眼科 (研究責任者) 戸所大輔

〈研究期間〉

承認日 2024年4月1日～2029年3月31日まで

〈対象となる方〉

2019年1月1日～2023年12月31日の期間に、東松山市立市民病院眼科でアcantアメラバ角膜炎の治療を開始された方

〈研究の目的〉

アcantアメラバ角膜炎は、河川など淡水に生息する寄生虫の一種であるアcantアメラバによる角膜感染症であり、コンタクトレンズ装用者を中心に発症します。希少な疾患で、いまだ承認された治療薬がありません。そのため、診断や治療の方法が病院や医師によって異なっていると予想されますが、今までに学会が中心になって大規模な調査が行われたことがないため、実態はほとんど分かっていません。この研究では感染症を専門とする眼科医で構成される日本眼感染症学会の主導によりアcantアメラバ角膜炎の病態、診断方法、治療方法および視力予後をあきらかにすることを目的としています。

〈研究の方法〉

診療録(カルテ)を元に患者情報を調べ、インターネット上でアンケート入力欄(Google Forms)へ登録・集計することでアcantアメラバ角膜炎の病態、診断方法、治療方法および視力予後を調べます。Google Formsへは個人情報の加工された情報(氏名・住所等の入力項目はなく、その他の個人情報についても個人が判別できないようにすべて匿名化されます)が入力され、研究事務局の群馬大学へ提供されます。

〈研究に用いる試料・情報の項目〉

アcantアメラバ角膜炎と診断され、治療された方の

- ①患者情報:年齢・性別・発症年月日・コンタクトレンズ使用歴・外傷歴・前医での治療歴
- ②角膜炎の状態・所見:視力・眼圧・前眼部所見
- ③検査所見
- ④治療内容
- ⑤転帰

<外部への試料・情報の提供の方法>

インターネット上でアンケート入力(個人情報はずべて匿名化されます)

2034年3月31日まで情報は保管されますが、保管機関終了後にデータ抹消ソフトを用いてデータは全て消去

<試料・情報の提供を開始する予定日と、提供を行う機関およびその長の氏名>

提供開始予定日:2024年4月8日 ~ 研究終了まで

東松山市立市民病院 (病院長)野村恭一

<研究を実施する機関組織>

研究責任機関:群馬大学医学部眼科

眼感染症学会会員

<お問い合わせ窓口>

東松山市立市民病院 眼科 稲田紀子

〒355-0005 埼玉県東松山市大字松山 2392

電話:0493-24-6111

※**研究対象者**とは、以下に該当する方(死者を含む)を指します。

- ①研究を実施される方
- ②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方